

マチのふくしを科学的にデザインする

ふくし・デザイナー養成講座

2019 年度**前期講座**のご案内

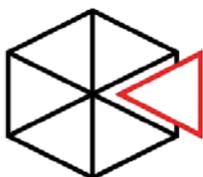


地域福祉実践に必要な学びをサポート

少人数制のため、じっくり、丁寧に学べます。参加者相互の情報交換もでき、ネットワークづくりにも役立ちます。お気軽にご参加ください。

- ✓ 社会福祉協議会職員
- ✓ 地域包括支援センター職員
- ✓ 福祉担当の行政職員
- ✓ 生活支援コーディネーター
の皆さまにオススメです！

**各回定員
12名**



ウェルビー デザイン
一般社団法人 **Wellbe Design**

<http://www.wellbedesign.jp> info@wellbedesign.jp

“福祉をデザインするチカラ”が求められています！



私たちの生活を豊かにするうえで、「福祉」の理念や活動はとても重要なものです。しかしそれら福祉活動の多様化や幅広さが増す一方で、「福祉」の理解を促進することやわかりやすく伝達することに難しさを感じている福祉実践者の声を多く耳にします。

「福祉」をわかりやすく住民や地域福祉実践者に伝えるために意匠を凝らし、意図や作意をもった地域福祉活動の企画・設計を行うこと、これがこの研修会のタイトルにある「ふくしのデザイン」です。1回のみ参加も可能となっておりますので是非ご参加ください。



新さっぽろデュオカルチャースクール
札幌市厚別区厚別中央2条5丁目デュオ-2 (5階)
TEL : 011-890-2427

会場地図



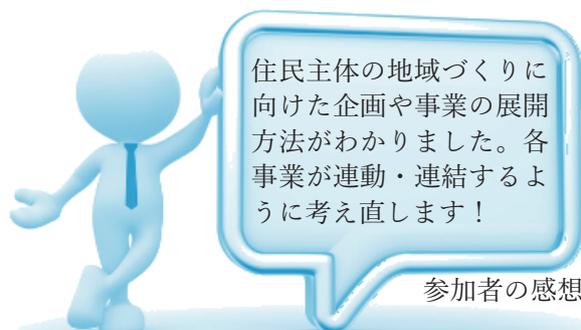
6/2 (日)

10:30~16:30

企画が楽になる！

プログラムデザイン

地域住民を対象とした研修会やイベントなどで事業効果を高めるためには、企画立案からスタートするプログラムデザインが大切です。人が集まらない、伝えきれない、時間通りに進まないなど、これらの状況を改善するための方法も学べます。



住民主体の地域づくりに向けた企画や事業の展開方法がわかりました。各事業が連動・連結するように考え直します！

参加者の感想

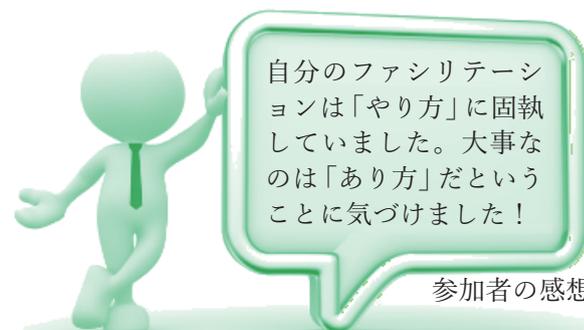
7/21 (日)

10:30~16:30

会議が強くなる！

ファシリテーション

住民を対象とした座談会や多職種協働による地域ケア会議、専門職が集うカンファレンスなど、地域福祉実践には多様な会議が多くあります。これらの会議を効果的に運営するためのファシリテーションスキルを学びます。



自分のファシリテーションは「やり方」に固執していました。大事なのは「あり方」だということに気づけました！

参加者の感想

*後期講座は10月以降に全4回の開催を予定しております。ご案内は9月頃の予定です。

申し込み等

- ウェブサイト <http://www.wellbedesign.jp> のエントリーフォームから申し込みください。
- 定員により、お申し込みいただいても参加できない場合があります。
- お名前や所属機関等申込時に記入いただきました情報の一部は、当日の資料・名簿に掲載させていただきます。また、主催者が取得する個人情報、当事業の運営にのみ限定して使用します。
- 開催概要はウェブサイトからもダウンロードできます。お誘いあわせの上ご参加ください。

持ち物

- 筆記用具、名刺（15枚程度）、参加費



エントリーフォーム

参加費

1回 4,000円

※ただし、当法人会員は1,000円割引

お問い合わせ

一般社団法人 Wellbe Design

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

TEL: 011-801-7450 FAX: 011-801-7451

Mail: info@wellbedesign.jp

8/25(日)

10:30~16:30

開発力アップ!

コーディネーション

公的サービスに頼り過ぎず、自立した生活を支えるためには、地域における福祉活動を活性化し、多様な資源を開発することやニーズとのマッチングを行うことが求められます。これらの機能を高めるコーディネーションスキルについて学びます。

ほかの研修では学ぶことのできないコーディネーターが持つ“本来の役割”、“存在意義”や“作法”を学びました!

参加者の感想

9/29(日)

10:30~16:30

地域を捉える!

地域アセスメント

地域アセスメントには、社会資源の把握、地域の生活支援ニーズの把握という2つの要素が含まれています。地域内の社会資源や人的な強みを把握することは様々な課題を解決する糸口につながります。地域の実態をつかむ手法を体験的に学びます。

2018年度の参加者から要望が多かった地域のモニタリングやアセスメント手法を取り入れました!

主催者より

地域診断・地域調査／地域活動の可視化／コミュニティソーシャルワーカー育成／
各種研究事業／ウェブサイト制作／地域開発／組織開発／コミュニティ形成支援…

Wellbe Design は、「地域福祉」を推進するパートナー



当法人が実施している主な事業（2018年度）

1. コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業

歌志内市、上砂川町、京極町、仁木町、真狩村、赤井川村、島牧村の地域包括ケアの仕組み構築に向けたアドバイザー活動や名寄市社会福祉協議会が策定する地域福祉実践計画の推進に向けたアドバイザー活動のほか、北海道民生委員児童委員連盟や沖縄県が実施する民生委員活動活性化事業のアドバイザーとして、民生委員活動の支援などを行っています。

2. 地域福祉人材の育成に関する事業

厚生労働省が行う介護予防活動普及展開事業における北海道のアドバイザーを担い、行政機関や地域包括支援センター等の人材育成を担うほか、愛知県が実施する生活支援コーディネーターのフォローアップ研修や道内外の社会福祉協議会職員向け研修、日本福祉大学通信教育学部の講義・スクーリングを行っています。

3. 地域福祉活動の推進に関する事業

中学校や大学での「福祉」や「ボランティア」、「防災」に関する授業や自治会・町内会向けの研修会の講師として活動しています。愛知県知多市の地域担い手育成研修、岡山県倉敷市の地域支え合いのまちづくりフォーラム、鳥取県の災害時派遣福祉支援チームのチーム員養成など、道外の活動も行っています。

4. 調査研究及び集計分析等に関する事業

大学等研究教育機関が行うアンケート調査の入力集計やインタビュー調査の文字起こし作業を行う他、研究開発機関からの要請に基づき、各種研究活動のサポートを行っています。

5. 地域福祉活動等の可視化に関する事業

登別市社会福祉協議会様、福祉防災サポートオフィス未来様をはじめとする各種機関のウェブサイトの運営管理のほか、ミネルヴァ書房から2018年4月20日に発刊された「災害ボランティア入門～実践から学ぶ災害ソーシャルワーク（山本克彦編著）」に執筆を行っています。

6. その他の事業

北海道地域福祉学会、日本社会福祉学会北海道ブロックの事務局業務を担うほか、本田技研工業(株)が行う社会貢献活動「子どもアイデアコンテスト」や(株)JR四国コミュニケーションウェアが行う「コラボミュージアムCity」に企画協力しています。また、2019年11月23～24日に札幌市で開催される「日本福祉教育・ボランティア学習学会第26回全国大会」の開催事務局を担っています。

※ 北海道胆振東部地震の支援活動も継続中

大規模災害発生時には各種支援機関と連携し、被災地域での福祉支援体制構築を行っています。2018年は岡山県倉敷市及び北海道胆振東部地震の支援活動を行いました。北海道胆振東部地震では、役場、社会福祉協議会とともに、「むかわ町復興支援ネットワーク」を立ち上げ、町内全4,000世帯超への訪問調査活動のほか、被災者の声に寄り添う「北海道足湯隊」や思い出の品物の修復を行う「Omoidori Project」など復興に向けた各種プロジェクトを実施しています。